

ものがたり じせい こうぎ 物語の時制-講義

1 導入

この講義の核心は、物語文の時制を「出来事が起きた順番」だけでなく、「語り手がいまどこに立って振り返っているか」という視点で決めることである。過去・過去進行・過去完了の選択は、動詞変化の暗記ではなく、この視点時の設計で説明できる。

2 中心課題

なぜ Rain continued to fall は自然で、While it rains quietly は物語文として不安定なのか。また、なぜ the last train had already left のように過去完了が必要になるのか。

3 用語

- 視点時: 語り手が現在位置として置く時点
- 過去: 物語の基本叙述を担う時制
- 過去進行: 背景や継続中の動作を示す形
- 過去完了: 過去の基準時点よりもさらに前を示す形

4 方針

物語文を英訳するときは、まず次の3段階で設計する。

1. 語りの基準となる時点をもつ1つ決める
2. その時点で起きていることを過去または過去進行で書く
3. その時点より前に完了していたことだけを過去完了に送る

5 直感的な説明

物語文では、読者は語り手と一緒に場面へ入る。現在形が突然混ざると、その場面から外れて説明文のように聞こえやすい。

Incorrect

While it rains quietly outside the window, only the sound of the clock echoed in the room.

[TNS] 背景の叙述が現在形に流れている。

Correct

Rain continued to fall quietly outside the window, while inside the room only the sound of the clock echoed clearly.

[TNS] 場面ばめんの基準きじゆんを過去かこに固定こていしている。

また、物語文では「その時点より前」を示したい場面が頻出する。たとえば駅えきに着ついた時点より前に終電じてんが発車まえしていたなら、過去完了しゅうでんで一段奥へ下げる必要がある。

6 厳密な説明

6.1 1. 基本叙述は過去

物語文の通常きほんの進行じょじゆつは過去かこで書く。動作ものがたりぶんが1回つうじよう起きて次しんこうへ進むかことき、まず過去形かを置くどうき。動作かいが1回お起きて次つぎへ進むすすとき、まず過去形かこけいを置くお。

Display

She opened the window.

He arrived at the station.

The clock echoed in the room.

6.2 2. 背景・継続は過去進行または動的な過去表現

雨が降り続けているあめ、誰かが待っているふ、部屋が暗くなっていくつづ、といった背景的な動作は、過去進行かだれ continued to … のような継続表現まで示すへや。部屋が暗くなっていくくら、といった背景的な動作は、過去進行かはいけいてき continued to … のような継続表現どうきで示すかこしんこう。

Display

It was raining outside.

Rain continued to fall outside.

He was waiting by the gate.

6.3 3. 基準より前は過去完了

過去完了は「昔のこと」だから使うのではない。物語の基準時点よりさらに前を示すときにだけ使う。

Correct

By the time I arrived at the station, the last train had already left.

[TNS] 到着とうちやくした時点より前に発車じてんが完了まえしているはっしや。

Incorrect

By the time I arrived at the station, the last train already left.

[TNS] 前後関係が曖昧になりやすい。

6.4 4. 過去完了を使い続けない

過去完了は1回前へ下げるための道具であり、物語の全体をhadだらけにするためのものではない。前景の進行へ戻ったら、ふたたび過去形に戻す。

7 最小の具体例

7.1 例 1: 背景の固定

日本語: 窓の外では雨が静かに降り続き、部屋の中では時計の音だけが響いていた。

Correct

Rain continued to fall quietly outside the window, while inside the room only the sound of the clock echoed clearly.

重要なのは、最初の動詞で場面の時制を固定することである。

7.2 例 2: 先行性の表示

日本語: 駅に着いたときには、終電はすでに出た後だった。

Correct

By the time I arrived at the station, the last train had already left.

到着が物語の基準時点であり、それより前に終電の発車が完了しているので過去完了になる。

8 別の見方

8.1 時間線として把握する観点

物語文の時制は、文法事項というより時間線の設計である。出来事を並べた後で、「いま語っている位置」を1点決めると、過去完了が必要な場所は自然に判定できる。

8.2 場面の映画として把握する観点

過去進行や continued to ... は、映像でいえば背景を保持する働きに近い。過去形は次の出来事を前へ進める役割を持つ。この違いを意識すると、背景と前景の切り分けがしやすい。

9 見分け方

- 物語文なのに現在形が混ざるときは、まず基準時点が固定されているかを確認する
- [Xしたとき、Yはすでに~していた] という構造なら、Yを過去完了で検討する
- 背景描写を短い過去形の連打で書いているときは、過去進行や継続表現へ置換できないかを見る

10 どこまで成り立つか

この講義は標準的な物語文の叙述を対象にしている。歴史的現在のように、あえて現在形で臨場感を出す技法は別である。また、会話部分では、登場人物の発話時点に応じて現在や現在完了が現れることがある。

11 最終形

Display

物語文の基本設計

前景は過去

背景は過去進行または継続表現

基準時点より前は過去完了

12 一言でいうと

物語の時制は、動詞の形を暗記することではなく、語り手の立ち位置を固定して時間線を描くことである。

13 関連リンク

→ [講義](#) [英語学習の運用設計](#) [lecture](#) [english](#) [overview](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/overview/> 英語学習の運用設計-講義/

→ [定石集](#) [誤りタグ体系](#) [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/> 誤りタグ体系-定石集/

→ [問題演習](#) [物語の時制](#) [exercise](#) [english](#) [tense](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/tense/> 物語の時制-問題演習/

→ [問題演習](#) [物語パラグラフ生成](#) [exercise](#) [english](#) [tense](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/tense/> 物語パラグラフ生成-問題演習/